

さんさんだより

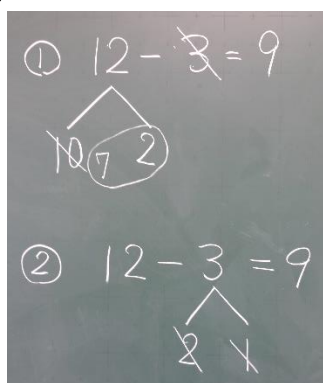
平成30年11月30日(第3号)

兵庫小学校
算数 少人数TT
江原・中尾・諸石



2学期が始まって、3ヶ月経ちました。子どもたちの2学期前半の算数の学習の様子をお知らせします。2学期の自然教室・秋の遠足・修学旅行・フリー参観デーなどの大きな行事も終わり、学習に落ち着いて取り組ませています。2学期末までに、後1ヶ月となり、まとめの時期にもなりますので、ご家庭でも声をかけていただけるとより効果的だと思います。

<1・4年生> 担当 江原



(1年生) 1年生は、一の位どうしのくり上がりのあるたし算と、11～18から一けたの数をひくくり下がりのあるひき算の学習をしました。計算のしかたを声に出しながら何度も練習し、「ばなな・さくらんぼ」を書いて答えを出せるように練習を繰り返しました。「ばなな・さくらんぼ」を書かなくても、確実に計算ができる子も増えてきました。「10は8と2」「8と2で10」と、10の合成や分解がすらすらできると、計算が速く、正確にできるようになります。指を使わなくてもできるまで、繰り返し練習をしていきます。ご家庭でもぜひ取り組んでみてください。

(4年生) 4年生は、広さの学習で長方形と正方形の面積の公式を学びました。面積を正確に表したり、広さを比べたりするには「単位」が必要になります。そこで、新しい単位「 cm^2 ・ m^2 ・ a (アール)・ ha (ヘクタール)・ km^2 」の5つを学習しました。

1 cm^2 は実際にその大きさの色画用紙をノートに貼り、1 m^2 には実際にみんなで乗ってどのくらいの広さか体感しました。子どもたちにとって分かりにくい1 a はだいたい音楽室くらいの広さ、1 ha は運動場いっばいに描いた大きな正方形の広さ、1 km^2 は地図上に正方形を描き、どのくらいの広さか身近なもので考え、量感をイメージしました。単位の換算が難しく感じたようです。単位のしくみがしっかり理解できるよう、繰り返し練習をしていきます。



<2・5年生> 担当 諸石

(2年生) かけ算では“九九を覚える”ことばかりに目がいいますが、たし算、ひき算しか知らない子どもたちにとっては、まず「かけ算」の意味が分かることも大切です。そこで、かけ算の意味を理解させるために、「1つ分の数」「いくつ分」「全部の数」の言葉や数字を色分けしたり、アレイ図で表したりすることを何回もしました。その後、九九を作る学習に入りました。子どもたちは、「分け足し作戦」「入れ替え作戦」などで、九九を作り、「入れ替え作戦」が分かりやすい方法だと気付きました。どの学級も、「1のたん～9のたん」まで進んだので、「上がり九九」「下がり九九」「とび九九」等、ご家庭でもお子さんが唱える時に聞いて下さると助かります。



【4×5と5×4の見方の違い】

（５年生）「単位量あたりの大きさ」の学習について

この単元では、まず、ジュースの量やたまごの重さを用いて、「平均」の意味と「平均＝合計÷個数」で求められることを学習しました。「単位量あたりの大きさ」の学習では、「面積」と「うさぎの数」の関係からうさぎ小屋の混み具合を調べました。



【1 m²あたりのうさぎの数の絵】

子ども達に「1 m²あたりのうさぎの数」「うさぎ1ひきあたりの面積」のどちらを求めているのか意識させて、「広さが等しい時」「うさぎの数が等しい時」を比べながら、それによって数値の大きい方が混んでいたりと、数値の小さい方が混んでいたりとすることを確認しながら学習を進めていきました。

「図形の角」の学習について

この単元では、まず三角形の3つの角の大きさの和が180°になることを学んだ後、四角形、五角形などの多角形の角の和の求め方を学習しました。

多角形の内角の和は、いろいろな方法で求められ、授業の中での「友だちタイム」で、自分の考えと友達の考えを比べ合うことで考えを深めることに取り組みました。その結果、疑問が解けたり、より簡単な方法を知ったりすることが徐々にできています。さらに、「みんなでタイム」では、「か」（簡単）「い」（いつでも）「わ」（分かりやすい）方法は、三角形のいくつ分かで考えると良いことに気付くことができました。

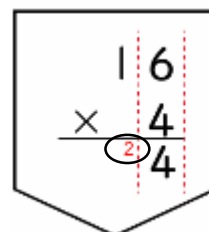


【友だちタイム】

< 3・6年生 > 担当 中尾

< 3年生 > 「かけ算の筆算」の学習について

かけ算の筆算について初めて学習しました。これから二ケタをかけたり上の学年で小数をかけたりする時、基礎となります。特に、繰り上がりのたし忘れを防ぐために記入の仕方を全クラスで約束しました。家庭でも確認してほしいと思います。



「四六24」の4を
一の位に書き、
2を十の位に
くり上げる。

「小数」の学習について

現在、3年生は初めての『小数』の学習をしています。「1を10等分した1つ分が0.1」ということを学習して、それを使って、たし算やひき算も学習しています。身の周りにある小数を親子で見付ける競争をされてもいいかと思

校舎までの角度を測る様子

< 6年生 > 「拡大図と縮図」の学習について

「拡大図と縮図」の学習をした後で、縮図を使って、学校の校舎や照明灯の高さを求める学習を行いました。実際に測らなくても、縮図を書いて計算すれば、校舎や照明灯の高さがわかり、算数で学習したことが、生活の中で役立つことは、子ども達にとって驚きで、意欲をもって学習できました。

「速さ」の学習について

「速さ」は「道のり÷時間」で求めることができますが、「時間」は目に見え



ないものなので、理解が難しい学習内容です。そこで、100mを自分で実際に歩いた時と走った時の1 mあたりのかかる時間や1秒あたりの進む距離をもとめさせることで、速さの意味を体験的にとらえさせました。自分の歩く速さや走る速さを秒速、分速、時速で求めたので生活の中でいろいろ使えると思います。例えばウサイン・ボルトが、時速36kmで走るの自分と比べると、目標地点まで歩いて何分かかかるかも計算で出せると思います。